

打ち込めることがありますか？

皆さんは、何か一つのことに取り込めることがありますか？私の場合は、ソフトボールに取り込んでいました。仲間と目標を叶える為に、毎日泥だらけになるまで練習を積み重ねてきました。

全力でやるからこそ得るものがあり、やりたいことが見つかります。私はソフトボールを通して学びました。

まだやりたいことが見つからない人でも、何か一つ集中して打ち込めるものがあるれば、そこから見えてくるものがあります。高校生活をより有意義に過ごしていきましょう。

平成20年卒業 森田望友先生（春日西中学卒業）



進路ガイダンス(劇と説明会)

6月8日(水)のLHRと放課後に進路ガイダンスを実施しました。6限目は体育館で『面接について』と『大学と専門学校の違い』という演目で福岡の劇団「ショーマンシップ」の皆さんが演じてくれました。就職試験の実際の面接試験場面の臨場感、大学と専門学校の特徴や違いを分かりやすく学ぶことができました。進行担当の「榎さんぼう」の入江さん(写真下)が「面接は普段からの心構えや生活がすぐ出るから敬語は日頃から使い慣れていること、歩き方や言葉遣いも注意して学校生活を過ごすことが大切です」と何度も言われたのが印象に残りました。放課後には大学・短大・専門学校の方をお招きし、3年生教室をブースに分け、各学校の個別説明会を実施しました。進学志望の3年生が熱心に説明を聞いていました。殆どの3年生が複数の学校の説明を聞き、いくつかの資料を抱え、比較検討ができる機会となりました。オープンキャンパスは



2年生でも1年生でも「待っている」とのことでした。学年問わず、夏休みなど利用してぜひ参加しましょう。では、3年生の進路ガイダンスを受けての感想を紹介していきます。

● ○ 進路ガイダンスの感想 ○ ●

★私は今回の進路ガイダンスを受け、日々の行いの重要性を感じました。劇であったように服装の乱れや言葉遣い、姿勢に気をつけ、さらには提出物の期限を守るなど社会からみて当たり前なことまで心がけていこうと思いました。

1組 進路係 古賀梨紗子

★進路劇では面接の受け方次第で企業側への印象が大きく変わることや大学は幅広く学べること、専門学校では専門的な知識を短期間で学ぶことなど、劇で楽しみながら知ることが出来て、とても良い経験になりました。

1組 HR委員 姫野 舞

★大学・専門学校の方に自分の思っていたことを全て話しました。小さな疑問から具体的な質問に至るまで、丁寧に答えて下さいました。将来の自分と向き合うことで、これからの学校生活に対する意識も変わってきそうです。

3組 進路係 鳥飼 千秋

★今回の進路ガイダンスで見せて頂いた2つの劇で私は普段からの積み重ねが大事なんだと感じました。普段やらないことをいきなり本番でやろうとしても無理なので、一日一日を本番に向け意識して頑張りたいです。

3組 進路係 吉村 花純

★進路劇を見て、面接では笑顔で面接官の目を見て、自分の意見を伝えることが大切だと思いました。進路相談ではコースの説明を聞いた後、就職後のサポートの話も聞いて、とても興味を持ちました。

5組 進路係 北原 桃香

★進路劇では臨機応変に対応しているのがとても素晴らしかったです。自分もどんなことにも対応できる力を持ちたいです。進路相談ではより一層、大学に行きたいと強く思いました。

5組 HR委員 木下 綾華

